

結いの心

地域みんなで結ぶ大きな絆

令和6年7月号

木城町自治公民館連絡協議会

自治公民館活性化支援員 大津 新

地域の安寧を願う

今年も、6月2日（日）水分（みくまり）神社の清掃活動が行われました。



「水分神社？ってどこにあるの？」といわれる方もおられるのでは？水分神社は、高城公園に向かう途中の右側、ちょうど木城町内が見渡らせる場所にあり、立小路、在南、湯屋ヶ坂自治公民館の皆さんが、毎年、除草作業やしめ縄の張替えを行っておられます。また、19日（日）には、あいにくの雨にもかかわらず、在南公民館に、3地区の館長さんが集まり、地域の安寧、五穀豊穡、夏の健康・安全について夏の祭事が行われました。このような活動を継続的に行っているのは、地域の連帯感を高め、お互いの健康・安全について見つめ直す機会として捉えていた先人達の知恵なのかもしれないと思います。



木城町史によると、子供達の水難事故防止や水の確保（雨乞い）のための神事で、昔は在6区でそれぞれに甘酒を作り、きき味（賞味）をしたり、子供神輿、子供達にぜんざいや握り飯の接待をしていたということです。

ほかの自治公民館でも、地域の安寧を願って同様の夏の祭事が行われています。

町民相互の交流を目指して！

今年も、自治公民館連絡協議会と教育委員会が共催して、木城町バレーボール協会のご支援をいただき、木城町民ミニバレーボール交流大会を開催することができました！18日（火）の監督会抽選会には、参加自治公民館から館長さんや体育担当者の方々が参加してくださいました。今年から参加年齢、コート内の男女数の制限をなくしたこともあり、昨年度以上に選手集めやチーム調整など、ご苦労も多かったのではないのでしょうか？各自治公民館での取組のお陰様もあり、参加チームが昨年度に比べ5チーム増の16チーム、参加者105名となりました。本当にありがとうございました。

23日（日）大会当日を迎え、早朝からバレーボール協会や自治公民館連絡協議会の役員の皆さんが集まり、会場設営や受付の準備等を行ってくださいました。

開会式では、杉田自治公民館連絡協議会会長の主催者代表あいさつ、半渡英俊町長の来賓あいさつで選手への激励のエールをいただきました。



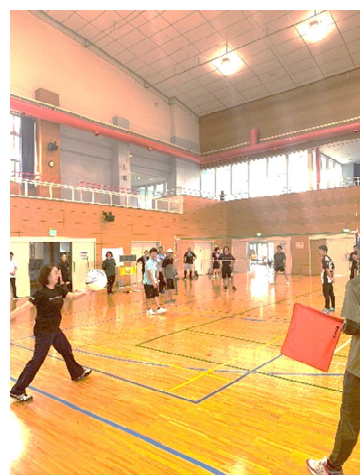
今年も準備運動の指揮を昨年に引き続きラジオ体操指導員の津江邦彦さんが行ってくださいました。

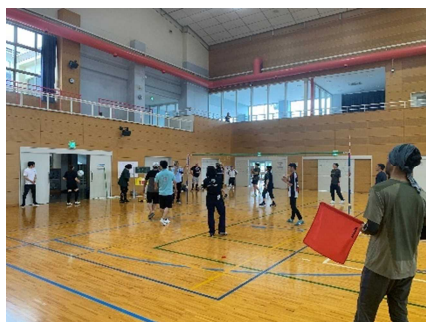


開会式後、最終確認の監督会を実施し、熱戦の火ぶたが切られました。



ナイスプレー！

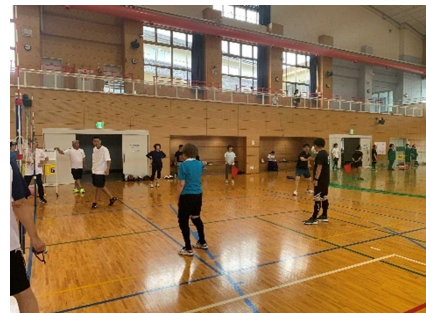




笑顔に包まれ、楽しい
大会となりました！



A コート優勝
中川原・岸立団地自治公民館



A コート準優勝
比木自治公民館 A



C コート優勝
四日市自治公民館 C



D コート優勝
岩渕自治公民館 B



F コート優勝
四日市自治公民館 B



C コート準優勝
出店自治公民館 A



D コート準優勝
町自治公民館



F コート準優勝
岩渕自治公民館 A

昨年5月に新型コロナウイルス感染症がインフルエンザ同等の伝染法上5類に移行され、声を出しての応援を含めた2回目の大会となり、大変盛り上がりました！このような活動を通して、チーム内外の交流の輪が広がっていました！お疲れ様でした！

テレビやネットでよく見聞きする「SDGs」ってなあに？ (4)

今回から SDGs の 17 の目標について紹介します。



3 すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進することは、持続可能な開発に欠かせません。平均寿命を延ばし、母子の死亡と関連づけられている一般的な死因のいくつかを減らすという点では、長足の進歩が見られています。しかし、2030年までに生児出生10万人当たり70人未満という産婦死亡率のターゲットを達成するためには、熟練した分娩医療の改善が必要となります。また、2030年までに非伝染性疾病による早死を3分の1減らすというターゲットを達成するためには、調理に際するクリーン燃料使用に向けたさらに効率の高い技術と、たばこのリスクに関する教育も必要になるでしょう。幅広い疾病を全面的に根絶させ、新旧の多種多様な健康問題に取り組むためには、さらに多くの取り組みが必要とされています。保険制度のより効率的な財源確保、衛生施設と衛生状態の改善、医療へのアクセス拡大、環境汚染の削減方法に関するより多くのヒントの提供に注力することで、数百万人の命を救うための支援を大幅に前進させることができます。



4 質の高い教育をみんなに

質の高い教育機会を得ることは、持続可能な開発を生み出すための基盤です。包摂的な教育へのアクセスは、生活の質を改善するだけでなく、世界の最も大きな課題に対する革新的な解決策を考案するために必要なツールを各地の人々に与えることにも役立ちます。学校に通えていない子どもは現在2億6,500万人に上りますが、そのうち22%は小学校就学年齢の子どもたちです。また、学校に通えている子どもでも、基本的な識字・算術能力が欠けています。過去10年間で、あらゆるレベルの教育へのアクセス改善と、特に女性と女児の就学率向上に向け、大きな前進が達成されました。基本的な読み書きの能力は大幅に向上しましたが、普遍的な教育目標を達成するためには、さらに長足の進歩が必要です。例えば、世界は初等教育で男女の平等を達成しましたが、すべての教育レベルでこのターゲットを達成した国はほとんどありません。質の高い教育が欠けている理由としては、十分な訓練を受けた教員の不足、校舎の劣悪な状況、農村部の子どもに提供される機会に関連する公平性の問題が挙げられます。貧困家庭の子どもに質の高い教育を提供するためには、奨学金制度や教員養成ワークショップ、校舎の建設、学校への水道と電力の供給改善に投資する必要があります。

＜国際連合広報センター資料引用＞

＜8月までの予定＞

7月18日（木）木城町自治公民館連絡協議会第2回役員会（リバリス）

8月27日（火）第2回自治公民館長会（リバリス：予定）

8月29～30日 九州地区公民館研究大会大分大会



木城の風景・今日の言葉【木城町自治公民館
へようこそ】

※毎日、木城の風景・今日の
言葉をお届けしています！
ぜひご覧ください！

